

第 22 回「大規模災害廃棄物対策九州ブロック協議会」 議事要旨

1. 日時

令和 8 年 1 月 27 日（火） 13:30～16:00

2. 開催場所

出島メッセ長崎 103 会議室
(長崎県長崎市尾上町 5-1)

3. 出席者

23 団体（九州地方環境事務所及び（一財）日本環境衛生センター含む）

4. 議題

【報告事項①：別業務の実施報告】

- (1) 令和 7 年度九州ブロックにおける災害廃棄物処理計画策定・改定支援業務の実施結果について …資料 1
- (2) 令和 7 年度災害廃棄物処理に関する仮置場設置運営モデル（九州地方）業務の実施結果について …資料 2

【報告事項②：本業務における協議会活動の実施報告】

- (1) 令和 6 年度 被災自治体との意見交換会の開催結果について …資料 3
- (2) 災害廃棄物仮置場設置運営訓練の開催結果について …資料 4
- (3) 情報伝達訓練及びワークショップの開催結果について …資料 5
- (4) 災害廃棄物処理に係る人材育成研修会の開催結果について …資料 6
- (5) 令和 7 年度における災害廃棄物関連の対応報告

【議事】

- (1) 行動計画及びブロック内連携マニュアルの改訂案について …資料 7
- (2) 次年度の協議会の活動について …資料 8

5. 議事概要

1) 報告事項①について

(株) 東和テクノロジー及び事務局より、資料 1、2 を用い、災害廃棄物処理計画策定・改定支援業務の概要、仮置場設置運営モデル（九州地方）業務の概要について説明した。

【災害廃棄物処理計画策定・改定支援業務について】

- ・現在策定・改定中の計画について、資機材の調達や人員配置に関する事項は、九州ブロックの行動計画・ブロック内連携マニュアルの内容と整合しているか。
→現案では、産業資源循環協会との連携を想定し、県を通じて資機材等を調達する計画としている。いただいた意見は、今後の意見交換会時の参考とさせていただきたい。

【仮置場設置運営モデル（九州地方）業務について】

- ・仮置場設置運営モデル業務で作成されている手順書について、内部での参考資料として活用したい。資料を共有いただくことは可能か。
→(事務局回答として) 本業務の成果品は、3月中旬に九州管内の全自治体に郵送する予定である。
→電子データの公表予定はないか。
→(九州地方環境事務所回答として) 成果品がまとまり次第、九州地方環境事務所ホームページでの公表を予定している。過年度の協議会業務の報告書もホームページで公表している。
- ・手順書の内容については、災害時に活用しやすいよう、今後はToDoリスト化やインシデントコマンドシステム（ICS）の考え方の反映等も検討して欲しい。
事例としては、ToDoリストを携帯できるよう、防水性の手帳サイズにまとめているケースもある。

2) 報告事項②について

事務局及び九州地方環境事務所より、資料 3～6 を用いて本年度の九州ブロック内での協議会活動内容及び令和7年度の災害廃棄物関連の対応状況について説明した。

構成員からの質問事項は、以下のとおり。

- ・資料3の意見交換会の開催結果について、実際に被災した自治体の経験談から各自治体でも活用できる情報があると思う。資料の公開はしないのか。
→(事務局回答として) 意見交換会を含む本年度の協議会活動結果については、報告書としてとりまとめ、九州管内の全自治体に郵送する予定である。
- ・資料4の仮置場設置運営訓練に関連し、今後県内で同様の取り組みを行いたいと考えている。訓練で作成した仮置場のレイアウトについて、講評可能な有識者や参考となるwebサイトがあれば教えて欲しい。
→(事務局回答として) 鹿児島市で実施した仮置場訓練について、現在、撮影動画の編集作業を行っている。2月中～下旬には構成員の皆様へ動画配信を行う予定としている。
仮置場のレイアウトについては、報告事項①でも述べた仮置場設置運営モデル（九州地方）業務の成果品も参考としていただきたい。実務的な部分については、各県の産業資源循環協会に相談いただくことも有効と考えている。
- ・令和7年8月の豪雨対応について、ドローン空撮画像から災害廃棄物量の推計まで行うことは可能か。
→(九州地方環境事務所回答として) 技術的には可能だが、現在保有している機材では機能的に対応できないため、定点観測を目的として使用した。
仮置場の運営を委託事業として行う場合は、事業者の機材を用いることで災害廃棄物量の推計

まで行うことも可能と思われる。

- ・令和 7 年 11 月の大分市佐賀関での大規模火災を踏まえ、災害廃棄物処理計画等の策定・改定時は、実効性を高めるためマルチハザード(地震、竜巻、火災等)への対応を意識して欲しい。
- ・鹿児島市での仮置場訓練について、今後も同様の取り組みを行う場合は、協会としても積極的に参加したいと考えている。

各県や市で平時のうちに仮置場のレイアウト検討等を行う場合は、協会としても協力できる部分が多くあると思うため、是非声掛けいただきたい。

また、災害廃棄物処理に関する協定については、人事異動により自治体担当者が内容を把握していない場合や、協定内容が近年の社会情勢に即していない例がある。必要に応じ、協定の見直しを検討して欲しい。

そのほか、協会会員には普段からドローンや GPS を活用している土木分野の業者もいるため、先に話が合った災害時のドローンの活用についても協力できる部分があると思う。

3) 議事について

事務局及び九州地方環境事務所より、資料 7、8 を用いて行動計画の改定案及び次年度の協議会活動内容について説明した。

構成員からの意見は、以下のとおり。

【行動計画及びブロック内連携マニュアルの改定案について】

- ・ブロック内連携体制の構築にあたり、幹事支援県はどのタイミングで決まるのか。
 - (事務局回答として) 行動計画内では、各県に対するカウンターパート形式で幹事支援県の第 1 候補・第 2 候補をあらかじめ想定している。実際の災害時は、被災状況を踏まえたうえで、幹事支援県の役割を担うことの要請及び意向の確認を経た上で幹事支援県を決定することになる。
- ・ブロック内連携が不要な場合は、どのように判断するのか。また、その際の連絡はどのように行うのか。
 - (事務局回答として) 資料 7-2 の p17 に被災規模に応じた災害廃棄物処理対応をまとめているが、自県内のみでの処理が可能な場合は、ブロック内連携は不要として整理している。
 - (九州地方環境事務所回答として) 現在のところ、ブロック内連携体制を発動した事例がないため、ブロック内連携を発動しない際の構成員への情報発信は行ったことがない。ブロック内連携の発動有無については、判断が難しいと感じている。
- ・緊急連絡先の整備に関連し、環境省として災害時に使用可能なシステムはないか。能登半島地震では、日本水道協会がチャットシステムを導入し情報収集を行った事例がある。
 - (九州地方環境事務所回答として) 災害時にラインワークスを使用した例がある。
 - 災害時の連絡ツールについては、将来的に議論できるといいと思う。

【次年度の協議会活動について】

- ・能登半島地震の被災地視察について、1自治体1人分の旅費はみていただけるとのことだが、旅費を自治体側で実費負担する形で1自治体から2名以上参加することは可能か。
→(九州地方環境事務所回答として) 複数名参加いただくことは可能だが、移動に用いるマイクロバスの定員の都合上、人数制限を設ける可能性はある。
- ・災害廃棄物処理計画の策定・改定支援事業について、対象自治体はどのように選定するのか。
→(九州地方環境事務所回答として) 基本的には自治体から希望を出してもらおう形だが、計画未策定の自治体に対しては、こちらから直接打診するケースもある。

【その他】

- ・現在、環境省本省で検討が進められている人材支援等の新たなスキームについて、情報があれば教えていただきたい。
→(九州地方環境事務所回答として) スキームの詳細については本省で検討中のため、まとめ次第共有したいと考えている。
- ・近年、リチウムイオン電池の混入による火災等が問題となっているが、災害現場においてそのようなトラブルや対策はあるか。
→(九州地方環境事務所回答として) 現状、そのようなトラブルを聞いたことはないが、今後は問題となる可能性がある。

配布資料

議事次第、構成員名簿、出席者名簿、配席図

資料1 令和7年度九州ブロックにおける災害廃棄物処理計画改定・策定業務事業概要

資料2 令和7年度災害廃棄物処理に関する仮置場設置運営モデル（九州地方）業務の実施結果

資料3 災害廃棄物対応に関する意見交換会の開催結果

資料4 災害廃棄物仮置場設置運営訓練の開催結果

資料5-1 情報伝達訓練及びワークショップの開催結果について

資料5-2 情報伝達訓練（令和7年10月16日）実践後アンケート結果

資料5-3 大規模災害廃棄物対策九州ブロック協議会「ワークショップ」議事要旨

資料6 人材育成研修会（災害廃棄物処理に係る研修）カリキュラム

- 令和7年度における災害廃棄物関連の対応報告

資料7-1 行動計画及びブロック内連携マニュアルの改訂（案）の概要

資料7-2 行動計画（令和7年度改訂案）

資料7-3 ブロック内連携マニュアル（令和7年度改訂案）

資料8 令和8年度の協議会での検討事項等に関するアンケート調査結果

- 令和7年度補正予算事業について

以上